

## 10周年の回顧

本県生物学会の10か年間の行事のうち、主なるものを列記して回顧の一端としてみたいと思う。(編集子)

昭和22年6月6日 明石小学校で創立総会を開く。

昭和22年5月17日 明石女子商業学校において本会結成の準備委員会開催する。同日、古川、山本、藤原、西脇、稲葉、室井の諸氏が規約委員を嘱託される。

昭和22年8月12~13日 但馬三河山、白石山において本田正次、竹中要先生外、指導の植物採集会を催す。

昭和22年8月18~22日 県立兵庫高校において大阪女子大学木南正叔教授の食物の講習会を開く。

昭和22年11月29~30日 京大、三木茂博士の白川層の化石採集並びに鑑定会を開く。

昭和22年12月6日 姫路市立第二高女において総会を開き富田博士に酵素の話を開く。

昭和23年3月1日 会誌、兵庫生物、創刊号、発行する。

昭和23年5月29日 加古川高校において第1回総会開催し、東京農大、三浦博士の講演を聞く。

昭和23年6月12日 兵庫生物を米国民間検閲局出版物検閲部に届出をなす。

昭和23年8月7~11日 洲本市において広島大学の滝教授指導の臨海実習を開催。

昭和23年10月1日 兵庫生物、第1巻、第2号を発行。

昭和23年10月7~9日 神戸諏訪山小学校において日本生物教育会、第3回大会、並びに山手小学校において生物展覧会開催。

昭和23年11月6日 京大教授、北村四郎博士のノシギク研究会を大塩において開く。

昭和24年1月22日 諏訪山小学校において京大教授、上野益三博士の生物史の話を開く。

昭和24年2月19日 神港高校において小清水教授より、植物ホルモンに関する講習を受ける。

昭和24年2月25日 郷土の生物を発刊。

昭和24年3月30日 兵庫生物、第1巻、第3号を発行。

昭和24年8月9~12日 灘高校において阪大、藤田博士指導の生理講習会を開く。

昭和24年5月21日 灘高校において総会を行う。京大、山崎教授から花粉分析の講演を聞く。

昭和24年5月28~29日 京大、北村、田川、広江、村田の諸先生指導の植物採集会を雪彦山で開く。

昭和25年1月10日 兵庫生物、第1巻、第4号を発行。

昭和25年2月5日 兵庫高校において、奈良女子大教授、稲葉文枝博士の遺伝と進化、及び京大、徳田御稔博士の進化と分布の話を開く。

昭和25年6月3~4日 但馬関宮の蛇紋岩地帯の植物調査を京大、植物教室の北村、田川、広江、村田の諸先生指導の研究会を開く。

昭和25年7月29~30日 赤穂市坂越において神大教授、広瀬弘幸先生指導の臨海実習を行う。

昭和26年1月20日 兵庫生物、第1巻、第5号を発行。

昭和26年5月26~27日 相原において総会、続いて小金嶽で京大、北村博士指導の植物採集会を催す。

昭和26年8月2~3日 明石市において広大、滝教授指導の臨海実習、他あり。

昭和27年1月20日 兵庫生物、第2巻、第1号を発行。

昭和27年5月10日 生物入試問題集第1冊を出版、以後毎年引続き出版する。

昭和27年5月10~11日 神戸市妙法寺小学校において第5回総会開催、三木茂博士の白川化石群の話、及び徳田御稔博士の生物の進化の話を開く。

昭和27年8月10日 兵庫生物、第2巻、第2号、阿部、田代、山鳥、矢倉先生記念号を発行。

同日、会員名簿を発行する。

昭和27年8月9~11日 但馬妙見山、氷の山において京大、北村、田川、広江、村田先生の指導の植物採集会並びに農大、岩田、奥谷先生指導、昆虫採集会を開催する。

昭和28年5月9~10日 第6回総会を柏原高校において開く、京大、田川博士の根の構造、農大、浜田博士の小麦の話を開く。

昭和28年8月10~13日 淡路福良町において神大、広瀬教授、森会長指導の臨海実習を開催。

昭和28年8月18~20日 但馬、扇の山西浜海岸において昆虫(奥谷先生指導)貝類(波部先生指導)の植物(北村、田川、広江、村田先生指導)の採集会を開催。

昭和29年3月25日 兵庫生物、第2巻、第4~5号を発行。

昭和29年5月15~16日 第7回総会を六甲山頂、六甲山小学校他で開く、京大、今西博士、上治博士の講

演を聞く。

昭和29年8月1～4日 神戸市立植物教材園において  
 学校園研究会を開催。

昭和29年7月28～31日 神戸医大において同校各教授  
 指導の生理講習会を開催。

昭和30年5月20日 生物実験ノート第1刷発行、A5、  
 33ページ。

昭和30年5月21日 西宮市立西宮高校において第9回  
 生物学会総会を開催、本城博士に動物趨性について  
 話を聞く。

昭和30年6月10日 生物実験ノート第2刷を発行す  
 る。

昭和30年8月27～29日 理科校外指導研究会を淡路、  
 先山及びユズルハ山において東大、本田正次博士、  
 兵庫農大、奥谷先生指導で開催。

昭和30年10月28日 神戸市、毎日ホールにおいて北  
 大、牧野博士に癌細胞の話を聞く。

昭和30年11月10日 兵庫生物、第3巻、第1～2号発  
 行。

昭和31年8月10～12日 兵庫農大において同校教授指  
 導の生理講習会を開催。

昭和31年10月26～11月11日まで神戸新聞社と共催で兵  
 庫県生物展開催する。

昭和31年11月10日 兵庫県生物誌を発刊。

昭和31年5月27～28日 第10回総会を但馬、城崎小学  
 校及び日和山において開催、京大、徳田博士にメン  
 デルとルイセンコ学説、森会長から日本海の魚類に  
 ついて聞く。

昭和31年11月30日 兵庫生物、第3巻、第3号を発行  
 する。

昭和31年12月25～27日 神戸大学において同校教授10  
 名の先生に講演を聞く。

昭和32年5月25日 市立姫路高校において10周年記念  
 総会を開く。

昭和32年8月19～22日 神戸市奥摩耶ハウスにて野外  
 生物研究会を開く。

昭和32年11月30日 県立兵庫高校において大学入試問  
 題懇談会を開く。

## 兵庫県生物学会創立第10周年 記念号に寄せて

広 瀬 弘 幸

私と兵庫県生物学会とのつながりは昭和24年に始まる。しかし本会の前身にあたる兵庫県博物学会については、丁度発会当時、旧制姫路高等学校在学中であつたので、音水の森林中で、川崎正悦先生（灘高）からノリウツギを教えられ、故田代善太郎先生（京大）からタイミンガサを教えられたときの感銘と記憶は真になつかしい。初代会長であり私の恩師である故阿部良平先生の顔と物腰とが昨日のように想い浮びます。間もなく私は札幌に行きましたが、1度投稿さして戴いたきりで遠のきました。昭和24年神戸大学に転じて以来、本会の活動が次第に活発になり、他府県のその活動状況と比較し、さすがに大県なるかなと感心し、安心し、心強く感じた次第です。年々の総会の活発さ、時宜を得た催し物のヒット版の数々、それにも増して最大の誇りは、真に充実した本会誌の出版であ

りましょう。本会理事の方々の御苦勞は大変なものを中心敬意を表し続けています。

現在本会の推進力になつている人々は沢山ありますが、分けても直接運営の勞をとり続けあられる少数の方々には、時折とかくにいわれながらも、大乗的な見解から、近代的な実行力を如実に示されていて真に心強く頼もしく感じます。それにつけても、先般某所で、本会の最長老級の御1人である大浦茂樹先生と話し合つたことですが、何といつても、会の進化と永遠の発展とは、20代30代のいわゆる青年層の自覚と責任とその活動——研究、業績、発言——による所が何といつても一番大きいので、青年層の方々には次代を背負うの覚悟と自覚のもとに、たえず研究を続けられるよう、心から切望する次第です。

霞ヶ丘の頂にて、中秋の満月を仰ぎながら記す。